

学力向上に効果のある取組事例

国東市立安岐中学校

⑱ 不適応防止の取り組みと地域・行政と連携した取り組み

不適応防止の取組

不登校防止の取り組みでどの子にとっても学びやすい環境に

○未然防止の取組

- ①スタートプログラムの実践
- ②SC、SVIによる全員面談(1年生・5月)
- ③生徒の情報共有
 - ・生徒支援委員会(特別支援教育、授業支援)
 - ・不登校・いじめ対策委員会、生徒指導推進委員会
- ④アンケート(生徒アンケート、こころとからだのアンケート、hyper-QU)の実施と実施後の面談による聞き取り
- ⑤hyper-QU共有会議(年間2回)
- ⑥「人間関係づくりプログラム」の実践(月に1～2回程度)
- ⑦小中連携事業
 - ・特別支援教育に係る小中連携会議(8月)
 - ・小学6年生交流事業・体験入学・小中連絡会
- ⑧次年度入学生見学、保護者面談(複数回)
- ⑨新入生の授業観察小学校訪問(9月～10月)
- ⑩職員研修の実施
 - ・個別の指導計画の作成に係る研修(年2回)
- ⑪生徒に応じた丁寧な対応(支援学級の授業の分割、通級指導教室での個別指導、1年生英・数でのT・T指導、別室登校の対応等)
- ⑫生徒指導、問題行動、支援に関する、迅速な情報共有、未然防止、早期対応

○早期発見・早期対応・復帰支援 学びの場の保障の取組

- ①生徒支援委員会(特別支援教育、授業支援)
- ②不登校・いじめ対策委員会、生徒指導推進委員会
- ③アンケート(生徒アンケート、こころとからだのアンケート、hyper-QU)の実施と実施後の面談による聞き取り
- ④個人カルテの作成(生徒支援シート、個別の指導計画、発達検査等の資料等)
- ⑤登校支援ルーム「ひまわり」との連携
 - ・不登校生徒の家庭に担任から資料を用いて説明
 - ・指導者が生徒指導推進委員会に参加
- ⑥別室での授業対応
 - ・2年生の生徒に対し週1日程度実施
 - ・ひまわりの生徒(2・3年生)に対して、1日に1～3時間程度実施

地域・行政と連携した取り組み

地域・行政と連携した取り組みにより多様な学びの場を提供

○学び塾事業(市教委社会教育課事業)

- 目的** 補充的な学習のサポート。基礎基本を定着させることにより、中学校での適応を高める。
- 対象** 1年生の希望者
- 内容** 数学・英語の学習
水曜日の放課後を中心に年間20回程度実施
(夏休みは、午前中に実施)
- 講師** 地域住民の方

○放課後学習塾事業(市教委学校教育課事業) R4年度より

- 目的** 受験に向けた3年生の学力向上
- 対象** 3年生の希望者
- 内容** 受験に向けた学習(数学・英語)
水曜日の放課後を中心に年間30回程度実施
(夏休みは午前中に実施)
学習の程度に応じた少人数学習
- 講師** 民間学習塾の講師



それぞれの講師の方との
開塾式の様子(5月)